

第15回学長カフェ【2020.7.15】（学生の意見と回答について）

| 学科 | No | 学生からの意見・要望 | 担当部署回答 | 当日の学長回答（要旨） |
|------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国際観光 | 1 | 後期の授業形態について 後期もZoomによる授業（遠隔授業）となりますでしょうか。 | 教務(次長) 後期につきましては、実験・実習及びゼミ科目を中心に対面授業を増やします。今後の新型コロナウイルス感染症の状況にもよりますが、全体の約半分の科目を対面授業とする予定です。 | 少しでも対面を増やす努力をしていますが、佐世保で感染者が発生すると対面を縮小していくことも検討しています。対面授業が増えればZoomや遠隔授業は必要不可欠と考えております。対面授業を増やしたいながら、Zoomに飽きずにやっていく方法を我々が考えていかなければならないと思っています。 |
| | 2 | 後期の実習科目開講について 後期の対面授業を行う場合、球技科目やスポーツ実習科目などの実習科目はできるのでしょうか。 | 教務(次長) 各種資格に関わるスポーツ系の科目については、感染対策を万全にして開講する予定です。 | 後期の科目についてはその時の感染状況を鑑みて検討します。講義室は3密どころか10密といってもいいぐらい密集しています。講義室での対面授業ができるには本学はもちろん佐世保でも感染者がいない状況が必須であると考えています。実技科目の必要性は非常に高いと考えており、極力、実施する方向性で検討していますが、その時の感染状況によっての判断となります。 |
| | 3 | 遠隔授業について PDFやWordで授業する先生方で、文書で説明などをされる際、何を示しているか分かりづらいため、具体的に示してほしい。 | 各学科、教務課、IR 【国際観光学科回答】 意見を真摯に受け止め、学科会議などを通じて教員への注意喚起を促すこととする。また、後期は、各授業での学生からの意見聴取を促進する。 【社会福祉学科回答】 教員間で情報共有し、改善を図りたいと思います。 【健康栄養学科回答】 皆さんの意見を反映させ、後期の授業については可能な限り改善して参ります。 | 授業後のフィードバックでコメントをどんどん書いてほしいと思います。学生の氏名は公表されないため気にせず書いてほしい。ひどいコメントが来たなら私から該当教員に注意します。 |
| | 4 | イベントの開催について 開国祭やスポーツフェスタなどのイベントは開催する方向でしょうか。 | 学生課 「開国祭」としては実施いたしません。学生会を中心としたメンバーにより、webでのイベントを実施計画中です。新型コロナウイルス感染症の影響で、「息苦しい」学生生活が続いていますが、感染防止に最大限考慮し、開催できる可能なイベントを今後も計画してまいります。 | 各種イベントの実施有無については、一期一会に起因するかを考えています。そのため、入学式や卒業式など、学生にとって思い出に残るようなものは絶対にやるべきと考えております。ですから、学生から自然発生的に意見や要望などをあげ、提案をしていただきたいです。そして、何らかの形で各種イベントを実施して、思い出に残っていただきたいと思っています。 |
| | 5 | 就職について 今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、リモートによる就職活動を継続している先輩から、今年度より来春の方が、就職活動が難しくなるのではないか。来年就職活動を本格的に始める3年生にとっても不安である。このような状況のため、就職キャリアに直接、行くことができず不安であるが、どのように行動していけばいいか。 | キャリアセンター 来年度は企業業績の悪化により、ここ10年では例をみないほど就職難は厳しくなると思います。キャリアセンターでは10月から2022年卒業予定者向けの就職ガイダンスを実施しコロナ禍の就職活動を支援してまいります。また、現在でもズーム・対面どちらでも相談に答えています。不安や疑問があるのであればぜひキャリアセンターに連絡してみてください。このような状況下では就職情報不足ながらも自ら動くことが最も重要です。キャリアセンターに連絡することも一つ。連絡をお待ちしています。 | 大学の力は就職力と考えています。どのくらい就職を斡旋できたか、学生がどのくらい就職できたか、就職力は大学の力を図るのに大きな影響を与えます。キャリアセンターでは1対1での面談は禁止していません。事前に、健康チェックの項目をクリアできたら是非、来ていただいているような情報を入手してほしいと思います。 |
| 社会福祉 | 6 | 学費について 対面授業は実習科目が多く、ほとんどの科目が遠隔による授業となっているため、自宅で授業を受ける際、プリント代は大きい出費となる。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け収入が減っていたり、兄弟がいる家庭ではとても困難しているのが現状です。このようなことから、学費の一部である教育充実費は、現在、施設等を使用できていないため一部でも返金できないでしょうか。 | 次長 本学へも、今回のコロナ禍の中、学費等の減免についてのご意見いただきましたが、学費等の減免措置は考えてないことで回答しています。これまでも学生の皆さんからの徴収金を基金として、教育や学内の施設・設備の整備計画を立て進めると共に維持管理を行っています。また、情報ネットワークシステムや出席管理システム、ソフトウェアの利用料等は、現在でも使用料が発生しています。図書館入は通常通り行っています。大学の学費・教育充実費等は、学生の皆さんが入学卒業するまで教育・研究に係る費用を数年間の学費として平準化して納めていただいていると考えています。ですから、その年度の入学に対して別途、建物の費用を負担いただくか、突発的な事態が起きたことによる設備投資のため、現在、在籍している学生だけに負担していただくことは致しません。また、各人で施設の使用頻度が異なることで納入額を個別に変えることもありません。単位認定についてもシラバスに示されているように、どのような認定方法であっても価値が変わることはありません。正式な単位が授与される限りにおいては、授業形態の変更による授業料の減額を行うことは考えていません。 | この問題は切実な話である一方で、建物の維持費や清掃費などの管理費は、学生の皆さんが教室等を使用しなくても発生しています。どうしても、必要な費用は一定数あり、ギリギリのところまで運営しています。 |
| | 7 | 教員の授業態度について 学費を自ら納付するため、コロナ禍の状況下で恐怖に怯えながらもアルバイトを増やし生計を立ててきた。様々な支援制度があるが、利用できる制度は限られ、心が不安定になることもあるが、上手く外にSOSを伝えられない。そのような人たちの心のケアをお願いしたい。 また、オンライン授業でありやる気を感じられない先生がおり、先生のミスが目立ち、やる気がないことが伝わったりすることがとても不愉快であるが、このような授業に関する気になるところをどこにぶつければ良いでしょうか。 | CHサポートセンター、各学科、IR 【CHサポートセンター回答】「心のケア」に関して ①4月13日にポートフォリオ(マナバ)の「大学からのお知らせ」で「この健康相談窓口(学生相談室)よりお知らせ」を掲載している。その中に「キャンパスライフ・ヘルプサポートセンター」も添付し、オンラインによる学生相談室の利用方法も説明しており、例年よりも利用者は増加している。 ②4月27日に全学生対象でポートフォリオ(マナバ)にて行った「心の健康調査」の結果に基づき、学生相談室からのフォローも実行している。 ③体調面や新型コロナウイルス感染症に関する不安や心配なことに関しては、保健室に電話やメールで相談があり、個別に対応している。 ④毎朝実施している「健康チェック(全学生と全教職員対象)」の結果で、症状がある人やコメントを記入している人には個別に電話にて連絡を取って対応している。 ⑤心身ともに心配なことがある人はCHサポートセンター(直通電話:0956-20-5835 メール:ch-c@niu.ac.jp)へ連絡してほしい。 【国際観光学科回答】 4月8日の学科会議において、遠隔授業における学生の状況は、教養セミナーおよび専門演習を通じて、まずは担当教員がしっかりと把握することが合意されている。加えて、CHサポートセンター委員の教員2名およびIT関連の支援に関わる教員2名の4名体制のサポートチームを組成した。引き続き細やかな学生対応に努めるべく、教員間の情報共有を行っている。 【社会福祉学科回答】 学長からのご回答にもある通り、遠隔授業やZoomでの授業については、各教員が慣れない状況下で対面授業、悪戦苦闘しながら取り組んでいます。後期は、受講者のみなさんからのご意見や前回の反省も踏まえ、教員間での情報共有も図りながら、授業方法の改善・向上を図ってまいりたいと思います。授業等に関するご意見については、ゼミの先生や、場合によっては学長までメール等でお寄せいただければと思います。 【健康栄養学科回答】 不慣れた遠隔授業で、学生の皆さんは不安を感じることも多かったと思います。その不安を少しでも軽減できるよう科目担当教員やセミナー・ゼミ担当教員が皆さんの意見等と相談しながら授業を行っています。教員も遠隔での授業は初めてであり、皆さんに不便な思いをさせてしまったかもしれませんが、後期の授業ではできる限り改善したいと思っています。 | 人間は勉強したいという気持ちも純粋な気持ちだと考えます。教員も慣れないZoomや遠隔授業に悪戦苦闘しながら一生懸命模索しています。その中で、自己表現が苦手な教員もいますが、決してやる気がないわけではなく、様々なコンプレックスを模索していることは理解してほしいと思います。我々にはできることは限られていますが、できることは精一杯したいと考えております。色々な人の助けを借りて、決して自分の弱さにこぼれず、いろいろな基金や奨学金にバックアップして大学の学びを続けたいと思います。本学でもすでに100名を超える多くの教職員が寄付をしてくれていることを感じていただけて頑張ってください。 |
| | 8 | 前期のみ開講する科目の対応について 前期のみの科目について、対面授業ができるようになったら対応ができるのでしょうか。 | 教務課(次長) 前期につきましては、一部の実験・実習科目及び教養セミナー等を6月より対面授業を開始しました。後期については、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとできる範囲で、約半分の科目を対面実施予定です。 | 前期で終わってしまう科目についてどのように対応するか妙案がない状況です。なるべく早く対面授業を始めたいという要望はありますが、現状では難しいです。後期で終わってしまう科目についてどのように対応するか妙案がない状況です。なるべく早く対面授業を始めたいという要望はありますが、現状では難しいです。十分ディスカッションをし、検討します。 |
| | 9 | 給付金の金額設定について 居住形態や学年・学科によって学生が負担する生活費等異なるので、給付金支給の際、家庭の状況や居住形態によって金額を変えてほしい。 | 次長 今回の政府による新型コロナウイルス感染症に緊急経済対策による、一律10万円の現金支給の際も、当初の考えから大きく変更し国民全員一律10万円の支給となりました。変更になった理由は、学長からも回答がありましたように何を基準として支給するかという支給基準があまりにもわかりにくいからです。今回は、このことを含め給付金支給にあたり学内で慎重に協議し対応いたしました。 | 貧しさを計ることは極めて難しい問題です。一人ひとり異なる基準はあるようではないのが現状です。給付金額に差をつけることはとても難しいですが、十分ディスカッションをし、検討します。 |
| | 10 | 対面授業の優先について 後期から優先しおこなう対面授業は、国家試験や実習など優先してほしい。 | 教務課(次長) ご要望のとおり、後期については国家試験対策は対面で行います。また、実習科目の殆どは対面で行います。 | 実習科目や高学年受講科目を教務課で重視して検討し対面授業をスタートしました。すべてを対面授業とすることが望ましいですが、現状では難しいので優先順位付けを的確に行い、判断していきます。 |
| | 11 | 課題について 実習科目が多いが、例年、皆で話をしながらグループで行う活動を、コロナの影響を受け、一人でやらなければならない先生たちの課題が多く、寝る暇も取り組んで、コロナで家から出れない中落ち込んでいるのに課題の量がとても多く、知識を付ける必要は分かるが学生が負担にならないよう量を落とすなどハードルを下げしてほしい。 | 各学科 【国際観光学科回答】 第2回の学生アンケートによると、本学科の学生の1日の授業および課題に費やす時間は83%の学生が5時間以内だと応えており過剰な課題の量という状況ではないが、引き続き学科会議などを通じて状況の把握をしていく。 【社会福祉学科回答】 各教員に課題の分量について考慮してくれるようお願いするとともに、教員相互間でも、どのような授業を行い、どのような課題を出しているのかについて情報共有を図り、科目相互間で課題の分量が調整できるよう検討したいと思っております。 【健康栄養学科回答】 講義科目については、授業内で実施できる課題や授業後に負担のかからない程度の課題を基本としています。実習や演習科目については、対面、遠隔の授業形態に関わらず、授業後に課題やレポートへの取組が必要となります。皆さんに十分な理解や能力を身につけていただくための課題やレポートであるという点を理解して、計画的に取組んでいただきたいと思っております。教員には、再度、課題の量について見直しをしていただくようお願い致します。 【薬学科回答】 遠隔のため、学生の理解度が判定しづらく、課題が多くなっていると思われまます。国試合格のためには容易にハードルは下げられませんが、過度な負担にならないよう、注意喚起したいと思います。 | 課題が多くなってしまうのは、熱意の表れで、対面授業ができない中少しでも理解してもらうために課題で補おうと考えての結果だと考えてほしいと思います。少し控えめに7割掛けくらいにしてもらうよう全学教授会で必ずお願いいたします。 |
| | 12 | 学費減免について 給付金はあるが、学費の減免はないのでしょうか。 | 次長 本学へも、今回のコロナ禍の中、学費等の減免についてのご意見いただきましたが、学費等の減免措置は考えてないことで回答しています。これまでも学生の皆さんからの徴収金を基金として、教育や学内の施設・設備の整備計画を立て進めると共に維持管理を行っています。また、情報ネットワークシステムや出席管理システム、ソフトウェアの利用料等は、現在でも使用料が発生しています。図書館入は通常通り行っています。大学の学費・教育充実費等は、学生の皆さんが入学卒業するまで教育・研究に係る費用を数年間の学費として平準化して納めていただいていると考えています。ですから、その年度の入学に対して別途、建物の費用を負担いただくか、突発的な事態が起きたことによる設備投資のため、現在、在籍している学生だけに負担していただくことは致しません。また、各人で施設の使用頻度が異なることで納入額を個別に変えることもありません。単位認定についてもシラバスに示されているように、どのような認定方法であっても価値が変わることはありません。正式な単位が授与される限りにおいては、授業形態の変更による授業料の減額を行うことは考えていません。 | 我々教員も自費で機材を購入するなど、個別での支出が発生しています。学費の減免・返金について、早稲田大学の総長の話しを是非聞いてほしいと思っています。繰り返しのようですが、授業が平常通りに行われなくても、建物の維持・管理費や教職員の人件費は発生していることや新型コロナウイルス感染症の感染防止策にも例年同様に支出が発生していることから、学費の減免や返金については実施しないことをご理解いただきたいと思います。 |
| 薬 | 13 | 教員への質問について 授業内容の質問などを行う際、ほとんどがメールやマナバでの対応となり、何回もやり取りしなければならず時間がかかっている状況。前期試験も近づいてきたので、直接、研究室などに行って質問をしたい。 | 教務課、各学科 【教務課回答】 前期においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最優先とし、このような体制をとらざるを得ない状況でしたが、後期からは対面授業も増え、1名づつの対応はありますが、研究室への入室も許可していく予定です。 【国際観光学科回答】 後期は、少人数の授業における対面授業は増えていくものの、受講者が100人を超える授業については、遠隔が基本となる。メール、マナバでは解決が難しい質問などへの対応は、ZOOM等を通じた個別の対応を促す。 【社会福祉学科回答】 社会的情勢を踏まえ、今の体制を崩すことはできないと考えています。しかし、何かの方法で教員に遠隔を介しても質問を積極的に受けるように、メッセージを発信します。 | 社会的情勢を踏まえ、今の体制を崩すことはできないと考えています。しかし、何かの方法で教員に遠隔を介しても質問を積極的に受けるように、メッセージを発信します。 |
| | 14 | 授業の配布資料について 先日、大学より3万円の給付をいただいたが、遠隔授業がほとんどの中、配布資料が多く印刷代がものすごく負担となっている。プリンターを買いにも品薄となっており、自宅の環境を整えるのにも時間がかかる。 | 教務課(次長) 遠隔授業の資料関係については、学内で配布場所を設定する等の対応を行う予定です。 | この問題も学生にとっては大きな問題と捉えています。プリント代も決して安くなく、全国的にプリンターやOA機器が入手しにくくなっている状況であることも認識しています。そのため、環境を整えるまではポートフォリオ(manaba)にてテスト期間までなど長めに期間を設けて資料を掲載することとします。また、学内の印刷機・コピー機などによる安価な価格で印刷できる環境の整備を検討します。 |
| | 15 | 休講判断について 大雨などによる対面授業の中止判断が遅く、列車に乗り大学に向かう途中や着いてから通知が来ても、列車が止まっていたりし濡れないなど問題がある。そのため、判断や連絡を早くしていただきたい。 | 教務課(次長) 天候及び公共交通機関の運行状況を予測することは非常に困難ではありますが、今後はなるべく前日の夕方までに翌日の予定について決定及び通知したい。 | 今後は、前日の夕方ごろまでに翌日の方向性を決め、早めに周知するようにします。 |